

# 安全データシート

SiC研磨紙 #80-120-220-320-500-800-1000-1200- 2400-  
4000

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : SiC研磨紙 #80-120-220-320-500-800-1000-1200- 2400- 4000  
Cat. No. : 40400008, 40400009, 40400010, 40400011, 40400012, 40400013, 40400014, 40400019,  
40400020, 40400021, 40400022, 40400023, 40400024, 40400025, 40400026, 40400027,  
40400032, 40400033, 40400034, 40400035, 40400036, 40400037, 40400038, 40400056,  
40400057, 40400058, 40400059, 40400060, 40400061, 40400062, 40400063, 40400064,  
40400065, 40400066, 40400067, 40400069, 40400070, 40400071, 40400073, 404000125,  
404000126, 404000127, 404000128, JP-4040B008, JP-4040B012, JP-4040B018, JP-  
4040B022, JP-4040B032, JP-4040B050, JP-4040B080, JP-4040B100, JP-4040B120, JP-  
4040B200  
化学物質を特定する他の方法 : 情報なし。  
容器サイズ : 0.5 - 2 kg  
製品タイプ : この製品は、通常の使用条件下では「成形品」の定義を満たす。

### 推奨用途及び使用上の制限

製品の使用 : 微細構造試験片の湿式研削用。  
適応エリア : 業務用。

使用上の制限	理由
乾式研磨	-

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : ストルアス社 (Struers ApS)  
〒141-0022  
東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミュージビル1F

電話: 03-5488-6207  
Fax 番号 03-5793-1081

本SDS担当者の電子メールアドレス : info@struers.co.jp  
ス

緊急連絡電話番号(受付時間) : 公益財団法人 日本中毒情報センター (JPIC): 大阪中毒110番(365日 24時間対応)  
072-727-2499, つくば中毒110番(365日 9時~21時対応)029-852-9999.  
03-5488-6207 (株式会社ストルアス)

## 2. 危険有害性の要約

この製品は、通常の使用条件下では「成形品」の定義を満たす。

化学品のGHS 分類 : 区分に該当しない。

概要 : 該当しない

### 3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別 : アーティクル製品。

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS登録番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
炭化ケイ素	≤50	409-21-2	1-174	(1)-174
結晶質-石英	≤10	14808-60-7	1-548	(1)-548

### 4. 応急措置

この製品は、通常の使用条件下では「成形品」の定義を満たす。

- 吸入した場合 : 該当しない  
皮膚に付着した場合 : 特別な手段は不要です。  
眼に入った場合 : 該当しない  
飲み込んだ場合 : 該当しない

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

### 5. 火災時の措置

この製品は、通常の使用条件下では「成形品」の定義を満たす。

適切な消火剤 : 水、泡、粉末、二酸化炭素 あるいは 砂。

使ってはならない消火剤 : ウォータージェットを使用してはならない。

火災時の特有の危険有害性 : 特定の火災爆発の危険有害性はない。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:  
二酸化炭素  
一酸化炭素  
金属酸化物

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

## 6. 漏出時の措置

この製品は、通常の使用条件下では「成形品」の定義を満たす。

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 非緊急時対応要員について : 特別な手段は不要です。
- 緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 特別な手段は不要です。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 少量に流出した場合 : 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合 : 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意: 緊急時連絡情報については第1章を、廃棄処理については第13章を参照すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

この製品は、通常の使用条件下では「成形品」の定義を満たす。

### 取扱い

- 安全取扱注意事項 : 特別な手段は不要です。
- 衛生対策 : 特別な手段は不要です。

### 保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

### ばく露限界

化学名又は一般名	ばく露限界値
炭化ケイ素	日本産業衛生学会(日本, 9/2022)。[炭化ケイ素ウイスキー] OEL-M: 0.1 f/ml 8時間。
結晶質-石英	日本産業衛生学会(日本, 9/2022)。[結晶質シリカ] OEL-C: 0.03 mg/m <sup>3</sup> 形: 吸入性粉塵

### 生物学的曝露指数

認知済みのものは無し。

### 保護具

- 呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 眼、顔面の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具** : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。  
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

## 9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

### 外観

- 物理的状态** : 固体
- 色** : ダークグレー/灰色。[薄い]
- 臭い** : 無臭。
- 臭いのしきい値** : 情報なし。
- pH** : 該当しない
- 融点/凝固点** : 該当しない
- 沸点又は初留点及び沸点範囲** : 該当しない
- 引火点** : 該当しない
- 蒸発速度** : 情報なし。
- 可燃性** : 情報なし。
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界** : 該当しない
- 蒸気圧** : 情報なし。
- 相対ガス密度** : 該当しない
- 相対密度** : 情報なし。
- 溶解度** : 情報なし。
- n-オクタノール/水分配係数** : 該当しない
- 自然発火点** : 該当しない
- 分解温度** : >250°C (>482°F)
- 粘度** : 該当しない
- 粒子特性**
- 中央粒径値** : 情報なし。
- その他のデータ**
- 物理化学的コメント** : 追加情報なし

## 10. 安定性及び反応性

- 反応性** : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
- 化学的安定性** : 製品は安定である。

## 10. 安定性及び反応性

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。  
通常の保管および使用条件の下では、有害な重合は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 特にデータは無い。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。  
意図された使用において、危険な分解生成物や粉塵は発生しないと予想される。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
炭化ケイ素	LD50 経皮	ラット - オス, メス	>2000 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット - メス	>2000 mg/kg	-

### 急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん/ミスト) (mg/l)
SiC研磨紙 #80-120-220-320-500-800-1000-1200-2400- 4000	8318	8154.9	N/A	N/A	N/A
炭化ケイ素	2500	2500	N/A	N/A	N/A

結論/要約 : 情報なし。

### 刺激性/腐食性

情報なし。

### 皮膚感作性/呼吸器感作性

情報なし。

### 生殖細胞変異原性

結論/要約 : 情報なし。

### 発がん性

結論/要約 : 吸入可能な結晶質シリカ(石英)を含む粉塵に長時間および/または大量に曝露すると、結晶質シリカの微粒子が肺に沈着することによって引き起こされる結節性の肺線維症である珪肺症を引き起こす可能性があります。使用中に製品は粉塵を形成しません。使用中、本製品は粉塵を発生しない。

### 生殖毒性

結論/要約 : 情報なし。

### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
炭化ケイ素	区分1	-	呼吸器

## 11. 有害性情報

### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
炭化ケイ素 結晶質-石英	区分1 区分1	- -	肺 免疫系、腎臓、呼吸器

### 誤えん有害性

情報なし。

可能性のある暴露経路についての情報 : 予想される侵入経路: 経口、経皮、眼.  
予想されない侵入経路: 吸入した場合.

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間
炭化ケイ素	慢性 NOEC $\geq 100$ mg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna	22 日

結論/要約 : 情報なし。

### 残留性・分解性

結論/要約 : 情報なし。

### 生体蓄積性

情報なし。

### 土壌中の移動性

: 情報なし。

### オゾン層への有害性

: 該当しない

### 他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 13. 廃棄上の注意

この製品は、通常の使用条件下では「成形品」の定義を満たす。

### 廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。

## 14. 輸送上の注意

## 14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	Not regulated.	Not regulated.
品名	-	-	-
国連分類 クラス	-	-	-
容器等級	-	-	-
環境有害性	該当せず。	No.	No.

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

## 15. 適用法令

### 消防法

非該当

### 労働安全衛生法

#### 名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
炭化けい素 結晶質シリカ	≤50 ≤10	該当 該当	336 165-2

#### 名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
炭化けい素 結晶質シリカ	≤50 ≤10	該当 該当	336 165-2

#### 安衛則第577条の2の規定に基づくがん原性物質

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
炭化けい素 結晶質シリカ	≥50 - ≤60 ≤10	該当 該当	- -

### 化学物質審査規制法

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
炭化ケイ素	≤50	優先評価化学物質	143
ホルムアルデヒド	≤10	優先評価化学物質	25

## 15. 適用法令

### 毒物及び劇物取締法

非該当

### PRTR(Pollutant Release and Transfer Registers) - 2023年3月まで

非該当

### PRTR(汚染物質排出・移動登録制度) - 2023年4月より

化学名又は一般名	含有量(%)	元素として	状況	整理番号
炭化けい素	≤50		第一種	667

日本産業衛生学会 発がん性物質 : 第1群

日本インベントリ : 日本インベントリ(化審法既存及び新規公示化学物質): 未確定。  
日本インベントリ(ISHL): 未確定。

## 16. その他の情報

### 履歴

発行日/改訂版の日付 : 2024/03/01

前作成日 : 2024/02/22

バージョン : 2.03

作成者 : Sphera Solutions

### 略語の解説

: ATE = 急性毒性推定値  
BCF = 生物濃縮係数  
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム  
IATA = 国際航空輸送協会  
IBC = 中型運搬容器  
IMDG = 国際海上危険物  
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数  
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。("Marpol" = 海洋汚染)  
N/A = データなし  
UN= 国際連合

### 分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : JIS Z 7253:2019

前バージョンから変更された情報を指摘する。

### 注意事項

我々の知る限りにおいて、ここに記載した情報は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。